5　Summary

⑴　Deputy of President : Kouichi Oono, Procurement Department, Japan Pension Service

⑵　Classification of the services to be procured : 6, 71, 27

⑶　Nature and quantity of the services to be required : Making and pre-delivery business of the pension record to worry, “reconfirmation campaign” information facilities approximately 3,356,000

⑷　Performance period : From date of contract through 31,August 2013

⑸　Delivery place : Places designated by Japan Pension Service

⑹　Qualifications for participating in the tendering procedures : Suppliers eligible for participating in the proposed tender are those who shall ;

①　It must be a person who doesn’t correspond to the person and the bankrupt who doesn’t have the ability that the corresponding contract concludes by not obtaining rehabilitation.

②　It is a person who disturbed the execution of the duty as the person and the staff who disturbed the fulfillment of the person and the highest bidder who disturbed the execution of a person who did the act of injustice for the compact prosecution and a fair competition of the contract, and it is ill-founded and it person who doesn’t correspond to the person who doesn’t perform a contract.

③　Have the Grade A, Grade B or Grade C in “Service”, “Manufacturing” in terms of the qualification for participating in tenders by the Ministry of Health, Labour and Welfare (Single qualification for every ministry and agency) in Kanto-Koshinetsu Area in fiscal years 2013, 2014, 2015

④　Prove to have actually engaged in fair amount of similar matters properly

⑤　Prove to have the ability to provide sufficient service with certainty

⑥　Prove to have no false statement in tendering documents

⑦　Prove neither the business condition nor credibility is deteriorating

⑧　Meet the qualification requirements which Official in charge of disbursement of the procuring entity may specify in accordance with Article 73 of the Cabinet Order

⑺　Time-limit for Tender : 2 : 00 PM, 21, June 2013

⑻　Contact point for the notice : Yasuyuki Tahara, Procurement Department, Japan Pension Service, 5—24, Takaido-nishi 3-chome, Suginami-ku, Tokyo, 168—8505, Japan TEL 03—5344—1100

入札公告の変更

平成25年4月18日

独立行政法人水産総合研究センター

総務部長　下迫田裕二

◎調達機関番号　540　◎所在地番号　14

1　掲載日　平成25年２月14日（号外政府調達第28号）

2　変更内容　10ページ１⑵に「D　船舶用軽油　約５kℓ」を、10ページ１⑷に「D　平成25年５月13日から平成25年６月30日まで」を、10ページ１⑸に「D　船舶用軽油（東北地区）の独立行政法人水産総合研究センター総務部長が指定する場所。」を、11ページ３⑶に「D　平成25年４月26日」を、11ページ３⑷に「D　平成25年５月８日13時30分」を、11ページ５⑶に「D　Gas oil about 5　kℓ」を、11ページ５⑷に「D　From 13 May 2013 to 30 June 2013」を、11ページ５⑺に「D　13:30,　8　May　2013」をそれぞれ追加する。

入札公告（建設工事）

次のとおり一般競争入札に付します。

平成25年4月18日

首都高速道路株式会社

代表取締役社長　菅原　秀夫

◎調達機関番号　420　◎所在地番号　13

1　工事概要等

⑴　品目分類番号　41

⑵　工事名　（負）環状第２号線トンネル工事

⑶　工事場所　東京都港区東新橋一丁目～中央区銀座八丁目

⑷　工事内容　土工、仮設工及び地盤改良工施工

土工　約50,000㎥

仮設工

地中連続壁工（柱列式、φ550）約100㎡

地中連続壁工（柱列式、φ650）約800㎡

切梁腹起工　約1,200ｔ

覆工工　約6,500㎡

中間杭工　約278本

地盤改良工

高圧噴射撹拌工法　約5,600㎥

薬液注入工　約4,800㎡

実施設計（仮設工）一式

⑸　工期　契約締結日の翌日から950日間

⑹　その他

①　本工事は、参加表明書及び技術資料（以下「参加表明書等」という。）の提出を行った者（以下「技術提案者」という。）と技術提案書の内容に係るヒアリング（技術交渉）を実施し、競争参加資格が確認された者のうちから、競争入札により、価格と価格以外の要素を総合評価して落札者を決定する技術提案交渉方式の試行対象工事である。

②　技術提案の範囲は、工事目的物（構造種別、主要部材の形状寸法・材質等）の変更を伴わない範囲とする。

③　本工事は、技術提案に基づいた実施設計付き工事である。

2　競争参加資格

⑴　首都高速道路株式会社契約規則実施準則（平成23年準則第１号）第73条の規定に該当しない者であること。

⑵　首都高速道路会社における土木工事に係る競争参加資格の認定（会社更生法（平成14年法律第154号）に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき再生手続開始の申立てがなされている者については、手続開始の決定後、首都高速道路株式会社における土木工事に係る競争参加資格の再認定）を受け、当該認定（再認定）の際に客観的事項（共通事項）について算定した点数（経営事項評価点数）が、1200点以上である単体又は２者の共同企業体であること。

⑶　平成15年度以降に、以下に掲げる全ての要件を満たす工事を完工した実績（元請に限る）を有すること。ただし、同一工事で全ての施工実績を有する必要はない。なお、共同企業体の構成員（代表者を含む。以下同じ。）としての実績は、出資比率20%以上の場合のものに限る。

①　単体又は共同企業体の代表者

・市街地（ＤＩＤ地区）の往復４車線以上の道路上において車線規制を伴う開削（土留）工法による掘削深度10m以上かつ施工延長100m以上のトンネル工事

ＤＩＤとは、人口密度4,000人／㎢以上で、5,000人以上が集まっている地域である。

②　共同企業体の代表者以外の構成員

・開削（土留）工法によるトンネル工事

⑷　現場代理人、次に掲げる基準を満たす専任の主任技術者又は専任の監理技術者、設計の管理技術者及び照査技術者を契約締結日の翌日までに本工事に配置できること。なお、主任技術者又は監理技術者は、現場着手日の前日までの期間については、必ずしも専任を要しない。現場着手は、平成26年１月６日(月)を予定している。

①　主任技術者及び監理技術者は、以下のア～ウのいずれかの要件とエを満たすこと。

ア　建設業法（昭和24年法律第100号）第27条及び建設業法施行令（昭和31年政令第273号）第27条の３の規定による技術検定のうち、１級土木施工管理に関する検定種目に合格した者（以下「１級土木施工管理技士」という。）

イ　技術士法（昭和58年法律第25号）第６条及び技術士法施行規則（昭和59年総理府令第５号）第11条の規定による第二次試験のうち、建設部門に合格し、かつ、同法第32条の規定により技術士登録簿に登録を受けた者（以下「技術士（建設部門）」という。）